

令和7年度
自己評価報告書
資料

大田区立池上第二小学校

【1】未来を創造的に 生きる力の育成

①課題解決力や新たな価値を創造する力の育成



5年生は、おおたの未来づくり科で「〇〇が行きたくなる公園を提案し隊！」を区の公園施設課の職員の方に提案しました。授業パートナーは、地域の造園会社の経営者の方やランドスケープアーキテクトで御活躍されている方に依頼しました。

【1】未来を創造的に 生きる力の育成

②体験活動や本物から学ぶ教育の推進 1/2



ドリームプロジェクトでは、六年生が手紙を出して、ＪＲ東日本の社長や小学館・はま寿司の広報担当などの皆様に御来校いただきお話をうかがいました。また、国会見学では、傍聴席に座ったり、デジタル大臣と対面して御講話をいただいたりしました。

【1】未来を創造的に 生きる力の育成

②体験活動や本物から学ぶ教育の推進 2/2



六年生が、「世界陸上」の開催を前に、国立競技場体験ツアーに参加しました。観客席だけでなく、実際にフィールドに立って走ってみたい、選手の控室に書かれたサインを見たりしました。



③情報活用能力の育成



【1】未来を創造的に 生きる力の育成

3年生では、ローマ字の学習を年度当初に行い、その後、ブラインドタッチができるようにタイピングソフトで練習を重ねました。4年生では、ドコモの協力を得てプログラミングをしました。専門指導員の皆様がたくさん来てくださって手厚い御指導をいただきました。6年生では、おおたの未来づくりで地域のPR動画を作成しました。

①英語力や豊かな国際感覚の育成 1/3

【2】国際都市おおたを担う人材の育成



春休み、新学期が始まる前に、全教職員で英語の模擬授業をしました。児童役をしてみることで、児童の立場や気持ちになって楽しい授業を目指して研修しました。

①英語力や豊かな国際感覚の育成

2/3

【2】国際都市おおたを担う人材の育成



ALTの先生が、毎朝、こどもたちに正門であいさつをしています。「グッドモーニング」「アィムハッピー」などと口々に言いながらハイタッチしています。「アィムバック」と言ってくれた一年生もいました。

①英語力や豊かな国際感覚の育成 3/3

【2】国際都市おたを担う人材の育成



6年生は龍子記念館に著名な日本画家の描いた水墨画を鑑賞に行きました。そして、自分たちも実際に水墨画を描きました。池二小の卒業生には、日本画家の安西東作氏もいらっしゃいます。また、学区域に山口美術館もオープンしました。日本文化への造詣も深めていきたいです。

②相手を理解し尊重し合う心の育成

【2】国際都市おおたを担う人材の育成



2年生は、地域の高齢者の皆様に御来校いただき、一緒に昔遊びを楽しんだり給食を食べてふれあいました。

5年生では、目隠しをして白状を使って歩いたり、車椅子に乗ったりして障がい体験しました。デフサッカーの選手をゲストティーチャーとしてお招きし、一緒にサッカーをしたり、デフリンピックの観戦に出かけ、皆で応援しました。

自分とは違う様々な他者とふれあう中で多様性への理解を深め、互いを大切に思う心を育んでいます。

【2】国際都市おおたを担う人材の育成

③SDGsについて考え、行動する力の育成 1/2



池二フェスティバルでは、代表委員会が「SDGsを考えてゴミを出さない企画を考えよう」と呼びかけ、特に紙資源の節約を意識して取り組みんでいました。
六年生は稲刈りを体験し、三年生はスーパーに見学に行き、四年生は、東京のゴミ問題を自分事として捉えて深めました。

③SDGsについて考え、行動する力の育成 2/2

【2】国際都市おたを担う人材の育成



二年生は、トウモロコシの皮むきを体験しました。自分たちが皮をむいたトウモロコシが給食として配色されると、とてもうれしそうでした。

①豊かな情操や道徳心の育成

【3】一人ひとりが
個性と能力を発揮する力



「おはなしクレヨン」による
全学年での読み聞かせの実施

個性と能力を発揮する力

【3】一人ひとりが

②すべてのこどもに確かな学力

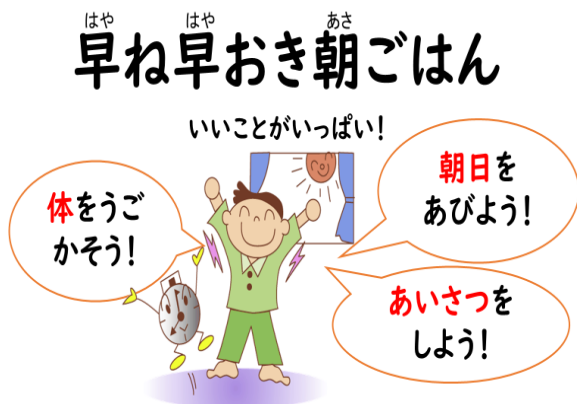


コミュニティ・スクールの取組で、夏休みに3年生の希望者を対象に「九九マスター教室」を実施しました。こどもたちは手厚く温かい御指導のおかげで九九の定着を図ることができ、自信と意欲につながりました。3年生以上で毎週2日間、放課後に算数の補習教室も実施しています。

個性と能力を発揮する力

【3】一人ひとりが

③基本的な生活習慣の確立



令和6年度（4月）

あいさつレベルアップ作戦！

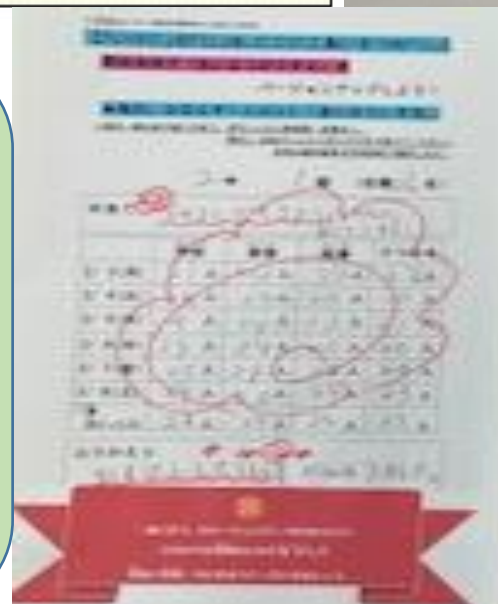
★毎日、かならず一人以上に「あいさつ」する

	がっこう	いえ	ちいき
4/10	379	381	320
4/11	420	419	391
4/12	439	440	401

「あいさつ」各学期はじめに重点的に学級で目標をたてて取り組みます。

「外あそび」を推奨し、ロング昼休みや友だちひろばの取組をしています。

「早ね・早おき・朝ごはん + ピカピカ歯みがき & ストレッチ」を年2回旬間として実施しています。



3学期あいさつ推進期間第2週目の取組

【「いけに」の「に」は、にこにこあいさつの「に」】

学校全体で「あいさつができる」を

バージョンアップしよう！

★毎日、かならず一人以上に「あいさつ」する。

※毎日、朝の食や帰りの食で、相手による人数確認・記録をし、週末に、校長ダイレクトボックスまで届けてください。全校の集計結果を全校朝会で報告します。

3年 2組 (在籍24名)

めあて 前日に引き続き、あいさつを頑張った自分からあいさつをする!

	がっこう	いえ	ちいき	3つとも
1/19(月)	24人	24人	24人	24人
1/20(火)	22人	22人	22人	22人
1/21(水)	23人	23人	21人	21人
1/22(木)	22人	22人	22人	22人
1/23(金)	24人	24人	24人	24人
集めた日	24人	24人	24人	24人

ふりかえり
継続してあいさつをすることができた。
あいさつ旬間ではなくても、自分からあいさつをすることを目指していきたい。
毎日、全員あいさつできる日が増えました◎

個性と能力を発揮する力
【3】一人ひとりが

④保幼小の連携や小中一貫の教育



小中一貫教育の日（年4回）
大森第四中学校・池上小学校の教員
とともに学習や生活指導の話し合い

- 幼稚園の年長児が来校し、1年生と交流しました。タブレットや教科書を見せながら学校紹介をしました。



【4】学校力 教師力の向上

①個別最適な学びと協働的な学び の視点による授業改善



KJ法などの思考ツールを活用し、個人で自分の考えをもつ時間を確保し、その意見をもとにペアやグループで共有し、最後に全体で発表しあい、互いの考えを知り、自分の考えを深めています。

【4】学校力 教師力の向上

②教職員の専門性や地域の特色 を生かした教育活動



教職員は各々の専門教科や分野をもち、区内の他の学校の教員と連携して自分の専門性を高めています。自分の学校では推進役となって他の教員をリードします。今年度は四名の教員が代表で研究授業を行いました。

ICT授業利活用事例							
学校名		大田区立池上第二小学校			ICTサポーター		
区分	小学校	学年	1年	実施時期	1月	授業科目	1年3組教室
教科等	国語	単元名	かたかなの かたち		授業場所	教科書	光村 見付
活用ソフト・コンテンツ	ムーブノート					人数	全3時間の1時間目
ICT機器	学習用タブレット、教員用タブレット、電子黒板						
【本時の内容】							
ねらい	学習者と観察者について学習者を見たり、他の担任の学習者を見て書いて書くことができる。						
展開までの活動	なし						
授業準備	教科書、かたかな練習ノート、フラッシュカード						
過程・時間配分	学習活動			学習活動	表現イメージ・写真・ワークシート等		
【導入】 5分	1 教科書P10の学習者と学習者を見比べて、似ているところと違うところを見せ合う。(ICT活用) 電子黒板に提示			学習活動1	学習活動2	学習活動3	
	2 違うところを見せしめながら、学習者や学習者を見比べて、似ているところと違うところを見せ合う。(ICT活用) chromaboardのムーブノートを使って移動や書き込みを行う。			学習活動4	学習活動5	学習活動6	
【展開】 10分	3 教科書P10の学習者を見比べて、似ているところと違うところを見せ合う。(ICT活用) chromaboardのムーブノートを使って移動や書き込みを行う。			学習活動7	学習活動8	学習活動9	
	4 教科書P10の学習者を見比べて、似ているところと違うところを見せ合う。			学習活動10	学習活動11	学習活動12	
【まとめ】 10分	5 違うところを見せしめながら、他の担任の学習者を見比べて、似ているところと違うところを見せ合う。			学習活動13	学習活動14	学習活動15	
	6 教科書P10-14の学習者を見比べて、似ているところと違うところを見せ合う。			学習活動16	学習活動17	学習活動18	
授業の振り返り				タブレット等	国語教師活用	国語教師活用	
◆教師の感想 ・かたかなのフラッシュカードを導入して活用したことで、児童が興味をもって学習することができた。学習活動1で電子黒板に提示する際は、黒板を全体的にキャプチャ機能を使って文字ずつ提示したことで、よく観察して似ているところと違うところを見つけてくれた。似ているところは黄色、違うところは赤色と色分けして電子黒板に提示された文字に印を付けることで、視覚的にも見えやすかった。							
◆児童の様子 ・「似ているところ」と「違うところ」を見つける活動は、全児童が積極的に参加していた。いつもは授業に消極的な児童も、たくさん手を挙げて発表することができた。国語にも少しずつ慣れてきており、提出後も友達のカードを見ながら考えを広げることができていた。授業後は、文字の別に見え方について話しかけたりしながら楽しく振り返りが行われた。							

●各学期一度、全教員が授業改善のために指導案を作成し、管理職による授業観察を実施。授業後に指導面談を行い、授業改善について話し合っています。

【4】学校力 教師力の向上

③教員が児童に向き合う時間の確保など ウェルビーイングを高める取組

教員の最終退勤時刻を20時目途とし、20時過ぎが連続した場合は、業務支援を行っています。

学年担任制・副担任制を推進することで、業務の共有化・効率化を図っています。

教職3年目までの若手教員に、年齢の近い教員をメンター・メンティーとしてペアリングし相談しやすい関係づくりをしています。

今後はコミュニティ・スクールを活用し、地域や保護者の有志の方に学習ボランティアを担っていただけるようにすすめていきたいです。

【5】自分らしく生きる
ための学びの支援

①インクルーシブ教育の構築に向けて



【ほっとルーム
の環境整備】



②「いじめ防止」のための組織的な対応

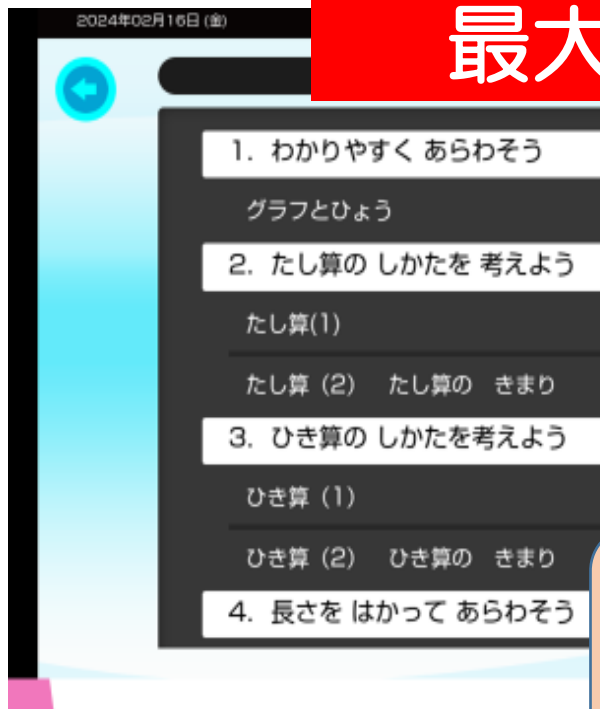
【5】自分らしく生きる
ための学びの支援



年3回、全校で「いじめゼロ3箇条」を実施。
各クラスの目標を決めて全校朝会で宣言し、毎日振り返りをしながら2週間にわたり継続しています。2月は「ピアサポート」を呼びかけました。

【5】自分らしく生きるための学びの支援

③一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばす指導や支援



- 学習者用タブレット端末を活用し、一人ひとりの習熟や震度に合わせた個別学習の実施
- 中規模校を生かした全校行事や伊学年交流の実施により上級生へのリスペクトや下級生への思いやりの心情を育む
- 週末には、全学級で一人ひとりの学習の状況や興味関心に応じたセレクト学習の実施 →今週のピカイチの掲示

- 児童アンケートを学期に1回実施し、児童理解に努め指導に反映させるととも年度途中で学校運営を見直して修正等を実施
- WebQUの結果をもとに、各学級でアクションプランを実施し、よりよい学級づくりの推進

- スクールカウンセラーの積極的な活用を推進
- 特別支援学級や特別支援教室では、一人ひとりにカスタマイズした指導を推進
→サポートルーム利用児童は今年度新規6名を含む31名



安全・安心な学習環境整備

【6】創造的な学習空間と

①学校や地域の特色を踏まえた学習環境を整備



- 図書室から一番遠い場所に読書コーナーがあります。図書ボランティアにより、定期的に学習に関する図書が展示され、休み時間に読むことができます。
- 第一学習室の後方に、算数的活動ができるコーナーをつくりました。遊びながら算数的な感覚や量感を養います。

②危険や災害に対する教育を 関係機関と連携して実施 1/2



不審者対応避難訓練では、児童は放送で不審者の侵入を知り、教室の中から施錠し静かに身を隠します。教職員は不審者をさすまたで追い詰めます。不審者役は池上警察署のスクールサポーターに依頼しました。

安全・安心な学習環境整備

【6】創造的な学習空間と

②危険や災害に対する教育を 関係機関と連携して実施 2/2



PTA・おやじの会主催で夏休みに、毎年「お泊り防災訓練体験」を実施しています。地域の消防団や消防署の協力も得て、防災について体験的に学ぶことができます。今年度は段ボールベットに寝ました。花火や防災夕食、夜の校内ウォークラリーやお化け屋敷？とお楽しみも盛りだくさんです。

【7】地域社会全体で
こどもたちを育成

①地域と学校が連携・協働した
様々な活動の実施 1/3



消防署まで3分の距離なので、3年生はクラスごとに1時間たっぷり見学をさせていただきました。救急車の中の設備や仮眠室、食事をする休憩室なども見せていただき説明していただきました。

【7】地域社会全体で
こどもたちを育成

①地域と学校が連携・協働した 様々な活動の実施 2/3



「呑川の会」と連携し、2年生と5組がつくった鯉のぼりを、毎年GWの呑川に飾っています。今年の1月に大田区の「町づくり景観賞」を受賞しました。

4年生は太田神社の灯籠絵を描いたり、6年生は「池上文化センターまつり」に絵画作品を展示したりしています。また、池上図書館には期間限定で全学年の代表児童によるお薦め本のコーナーも設置していただきました。

【7】地域社会全体で
こどもたちを育成

①地域と学校が連携・協働した
様々な活動の実施 3/3



3年生は「大好き！池上」の学習で、まちおこしの会発起人で前区長でもいらっしゃる卒業生をゲストティーチャーにお迎えし、池上のよさをお話ししていただいたり、呑川についてフィールドワークをしながら地域の環境について調べたり考えたりしました。

【7】地域社会全体で
こどもたちを育成

②児童の健全育成や安全指導の取組を
地域の協力により実施 1/3



CS会議で学区域の危険地域を地図上で確認しました。この情報共有をもとにPTA執行部の皆様に3年生の地域安全マップづくりの講師をしていただきました。また、通学路を実地踏査し、危険個所の改善要望報告書を作成し、池上警察署と区に陳情しました。

【7】地域社会全体で こどもたちを育成

②児童の健全育成や安全指導の取組を 地域の協力により実施 2/3



毎月第一土曜日の10時から、地域や保護者の皆様、児童、教員の有志が、ガーデンサポートの活動をしています。学級園や花壇の草むしりや種まきをして、学校の緑の環境を整備してくださっています。CS委員からは苗や予算の提供を受けています。

②児童の健全育成や安全指導の取組を 地域の協力により実施 3/3

【7】地域社会全体で
こどもたちを育成



PTAや地域の皆様により、日頃から登下校や帰宅時刻の見守り・パトロール等を実施
していただいています。

【7】地域社会全体で こどもたちを育成

③家庭教育に関する情報発信



学校公開に合わせて道徳授業地区公開講座や体育健康講座を開催しています。またSNS
ルールの講習会や学校保健委員会も実施し、児童の健全育成のために情報発信や情報共有
に努めています。

学校公開や保護者会の前後に開催することで御多様な保護者の皆様にも参加していただ
けるよう工夫しました。

③PTA等と連携した取組の実施

【7】地域社会全体で
こどもたちを育成



毎年、おやじの会・PTA主催で、防災体験教室を実施しています。町会主催の祭りやラジオ体操にもたくさんの児童が参加させていただき、楽しませていただいています。